

要請番号 (JL05718A03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
モルディブ	G161 体育		個別	交替 2代目	2年	・ 2018/3 ・ 2018/4



【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

アフィフディーン スクール

3) 任地（ハーダー・ダール環礁 クルドゥフシ島） JICA事務所の所在地（首都マレ）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（飛行機+船で約2.0時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

2004年4月に設立された公立学校で、5歳以下の幼稚部、6歳から12歳までの初等部、13歳から15歳までの中等部で構成されている。2017年5月現在、児童・生徒数は767名(男子415名、女子352名)、教職員数90名であり、北部環礁において最大規模の学校である。2017年度予算は1,350,000ルフィア(約87,500USD)である。2015年1月から2017年1月まで体育の青年海外協力隊(JV)1名が活動した。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の教育は「読み・書き・計算」に重点を置いた主要教科中心であったが、近年教育省は生徒の身心の健全な成長を目的とした情操教育に注目し、体育、音楽、図工等の教科を導入している。しかし、現状の学校現場では、それらの教科について知識や指導経験を持つ人材は極少数に留まり、地方島の多くの学校では十分な授業ができていない。同配属先では1代目JVが現地教諭と協力しながら、整列、準備運動で始まり、整列で終わる体育科授業を定着させてきた。しかしながら、生徒の成長やレベルに合わせた授業を現地教諭だけで構成するのは未だ難しい。また、新カリキュラムの段階的導入過程にあり、授業計画作成へのアドバイスが引き続き必要とされている。さらに、同任地は北部環礁内の島々からのアクセスがよく、環礁全体を対象としたワークショップの開催等をとおして、他校への働きかけも期待されている。以上より、2代目JVの派遣要請となった。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- 日々の体育科授業、およびワークショップの開催等による現地教諭への技術移転を図る。
- 現地教諭と協力しながら、1-8年生(6-13歳程度)の生徒の発達段階にあわせた体育科授業を行う。
- 生徒のスポーツ技術向上を目指した課外活動の指導補助を行う。(陸上競技等)

2017年5月現在、体育科授業は18コマ/週、スポーツ等課外活動は週5日実施されている。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

コーン、テニスボール、バレーボール、サッカーボール、バスケットボール、短縄、長縄、ハンドル、バトン、水泳用キックボード、ビブス等 体育科授業では校庭の他、陸上競技場を使用

4) 配属先同僚及び活動対象者

男性教諭3名(20~30代)、女性教諭9名(20-30代)の合計12名
スポーツスーパーバイザー(男性)および7年生クラス担任(男性)以外は、体育・スポーツ等のバッググラウンドがない。

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許/資格等]：（小学校教諭）
(中学校又は高等学校教諭 (保健体育))

[学歴]：（大卒） 備考：配属先の指定条件

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・日本体育協会スポーツ指導者資格があると良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯モンスーン気候） 気温：（30~33°C位） [電気]：（安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水源]：（安定）

【特記事項】

住居はボランティア専用シャワー・トイレ・キッチン付の1室が供給されるホームステイ型の予定。

【類似職種】